

科目名	資格対策講座 4							年度	2025
英語科目名	Special Lecture 4							学期	後期
学科・学年	I Tスペシャリスト科	2 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※ 講義
担当教員	金井		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア	
【科目の目的】									
キャリアを形成する上で有用となるベンダー試験の合格を目指す。企業と学生のニーズに合わせ、ターゲットとするベンダー試験は、講座開講時に決定する。代表的なベンダー試験は、CCNA、AWS、LPIC、LinuC、Oracle DB、HTML5、ITILなどである。本シラバスは、LinuC Lv1 を例とし、記載する。LinuC Lv1 以外をターゲットとした講座では、講座の冒頭にシラバスを提示する。									
【科目の概要】									
LinuC Lv1 の合格に向けた対策講座であり、これまで履修した授業等を通して、試験範囲については既に学習済みであることを想定する。本科目では、Linuxのインストールおよび仮想マシン・コンテナの利用、基本コマンド、ファイルとディレクトリの管理をはじめ、シェルスクリプトやネットワークに関する知識など、出題範囲とされる分野から特に重要とされる箇所をピックアップし、ポイント解説および演習問題を繰り返すことで、試験合格のサポートをする。加えて、試験の傾向や試験合格に向けた勉強方法などについてもアドバイスする。									
【到達目標】									
LinuC Lv1 の合格を目標とする。LinuC Lv1 に合格するためには、101試験および102試験の2つに合格する必要がある、本科目では両試験の範囲を学習する。A. 試験範囲の理解度B. 演習問題解答能力（101試験）C. 演習問題解答能力（102試験）D. 自主的な学習態度									
【授業の注意点】									
資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。本科目は、授業時間外で実施致する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標A	試験範囲全体を深く理解しており、どのトピックにも自信を持って対応できる。	ほとんどの範囲を理解しており、一般的なトピックに自信を持って対応できる。	基本的な範囲を理解しているが、複雑なトピックには不安がある。	一部の範囲しか理解しておらず、全体的に不十分。	試験範囲の理解がほとんどない。				
到達目標B	演習問題を迅速かつ正確に解答でき、内容を深く理解している。	演習問題を解答できるが、一部にミスや不安が見られる。	基本的な問題に対しては正確だが、難易度の高い問題には不安がある。	演習問題の解答に多くのミスがあり、理解が浅い部分が多い。	演習問題の解答がほとんどできず、理解に大きな欠陥がある。				
到達目標C	演習問題を迅速かつ正確に解答でき、内容を深く理解している。	演習問題を解答できるが、一部にミスや不安が見られる。	基本的な問題に対しては正確だが、難易度の高い問題には不安がある。	演習問題の解答に多くのミスがあり、理解が浅い部分が多い。	演習問題の解答がほとんどできず、理解に大きな欠陥がある。				
到達目標D	積極的に自主学習を行い、予習復習を通じて高い理解度を維持している。	自主学習を行っており、ほぼ全ての内容で準備ができています。	自主学習を行っているが、特定の部分に対して準備不足が見られる。	自主学習が不足しており、準備不足な部分が多い。	自主学習をほとんど行っておらず、準備が非常に不足している。				
【教科書】									
Linux教科書 LinuCレベル1									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
目標としている試験への取り組み状況、試験申し込みと受験の実績、および可否の結果を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

